

①あなたが住んでいる場所が『土砂災害危険箇所か点検』してください

土砂災害の多くは「土砂災害危険箇所」で発生します。ご自宅やその周辺に土砂災害危険箇所があるかどうか、下記の土砂災害危険マップによりご確認ください。

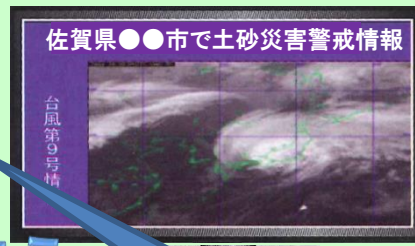
※局地的豪雨が増えたことなどにより、近年は土砂災害危険箇所以外でも土砂災害が発生しています。



②雨が降り出したら...『土砂災害警戒情報に注意』してください

土砂災害警戒情報は、TV速報や気象庁HPで確認できます。県庁HPまたは下記QRコードより『防災ネットあんあん』に登録頂くと、土砂災害警戒情報発表時には携帯メールでお知らせします。

※土砂災害警戒情報とは、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、市町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となる防災情報です。



防災ネットあんあん登録はコチラから

土砂災害から身を守るために

日頃の備え 早めの避難

③危険を感じたら『早めの避難』『日頃の備え』が大切です

避難の道順を決めておく

避難場所はどこか、避難の道順に危険がないか日頃から調べておきましょう。

緊急速報メールや広報車による呼びかけに注意する

強い雨や長雨の時などは、町による広報車の呼びかけなど注意しましょう。



お年寄りの方は早めの避難を

土砂災害による犠牲者の半数以上を占めるのはお年寄りの方など災害時要援護者です。移動時間を考えて早めの避難を。

避難に関することは役場へお問い合わせください



土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などで避難所への避難が困難なときは、次善の策として近くの頑丈な建物の二階以上へ緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋、二階など)へ避難してください。

このような現象は土砂災害の前兆現象です

こんな現象がみられたら…早めに避難を！！

キケンな場所には近づかない！！



地すべり

土石流

がけ崩れ